

大文字草



第99号

発行 富山県立大門高等学校PTA
編集 PTA文化広報委員会
E-mail daimonko@ed.pref.toyama.jp
U R L https://www.daimon-h.tym.ed.jp



入学式



定期演奏会



保育実習



高校野球応援



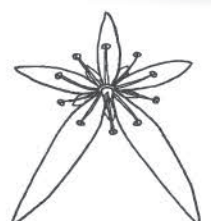
オープンハイスクール



球技大会

● ダイモンジソウ (大文字草) とは

サキシフラガとも呼ばれる。サキシは石、フラガは「割る」という意味。これは岩の割れ目に生息していることが多いことに由来。ダイモンジソウ (大文字草) と呼ばれるのは花卉が開くと「大」の漢字に見えるため。花言葉は、「自由」「情熱」「好意」。大門高校制服ネクタイの刺しゅう。





ごあいさつ

P T A 会 長 山 崎 正 治

日頃より大門高校 P T A 活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。ご

縁あって昨年度から P T A 会長を務めさせていただいています。山崎ですが、これをやりたいあれをやりたいたいという熱々なタイプではなく、コロナの期間に色々な活動が制約されたのを良いことに、高 P 連等の対外的なものや前年度の活動を踏襲して「P T A 活動に力を入れすぎないよう」にすることに力を入れていく活動」をモットーにしていますと自己紹介してしまうようなタイプの会長です。行事や会議に参加できずに「すみません」と連絡頂く方もいらつしやいますが、私も見に行きたかった体育大会が仕事の都合で出席できず、高橋監事に急遽出席していただきました（生徒に対しての挨拶までありがとうございます）。学園祭も直前にコロナに罹患し、来校するのを自粛しました。もしもの時は周りの方がサポートしていただけです。まず、まずは気軽に P T A 活動に参加していただければと思います。さて、学校に顔を出させてください。

ていると、石黒校長をはじめ先生方が子どもたちのことを考えた指導をされている場面を見聞します。それでも、先生であるからこそ生徒に対してできないこと、保護者に対して直接的に言えないことがあるように思います。また保護者の側からも先生や学校に対してどう話したら良いかわからないこともあるのではないのでしょうか。P T A は子どもの成長を目的とした保護者と先生が発的に作る組織と訳せます。学校の行事や P T A 活動に参加し、顔を合わせ、話をする中で、保護者と先生がお互いに信頼しあい、気の置けない仲になってこそ、意見を交換し合うこともでき、それによって子どもたちの教育環境が充実していくのではないのでしょうか。

今年度の P T A 活動はこの大文字草の発行で一区切りとなります。参加いただいた保護者の皆様、ご協力いただいた役員の皆様、先生方に改めてお礼申し上げます。これから保護者の皆様と先生方とで子どもたちのために活動していきたいと思えますので、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



親のびきりいふ

校長 石黒 光弘

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。2学期末を迎え、生徒が学習活動や学校行事、そして部活動に懸命に取り組む姿を見るたび、高校生活の大切さを身に染みて感じております。

さて、10月6日にフジテレビ系列で放送された「日曜日の初耳学」をたまたま見ることがありました。マーケットの森岡毅氏が、現役高校生に対して授業を行い、それを親がモニターしている様子を放映しておりました。マーケットとは、商品やサービスを創造・提供する人のこと、森岡氏は、経営難だった大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンをV字回復させたことで有名です。番組では、「朝起きられない」「毎日の継続が苦手」と訴える高校生に対し、親からは「規則正しい生活を送りなさい」「社会に出てから困る」と言われ、けんかになるという高校生の不満の相談がありました。これに対し森岡氏は、「親から言われた2つのことは、人生で勝つ確率を上げるアド

ることは、子供にオプション（選択肢）を与え、見守る、そして結果を受け止めるだけなのだ」と高校生に論じていました。

子どもは、一人の人間としての人格を持って生きていくし、子どもの人生を最後まで親が面倒を見ることはできません。そのことを考えると、森岡氏の伝えたいことは、「親の言葉」というのは、押し付けではなく、あくまでもアドバイスなのだ」ととらえることができ、なるほどと思ってしまう。また、親子関係のない人からこういう助言を客観的に説得力をもって言ってもらえると、親も子も納得できるところに落ち着きます。高校生たちも親の意を汲み取ったようでした。今回の森岡氏のような役割を担えるように、教師も学ぶ必要があるなど感じたテレビ番組でした。

本校 P T A も、親と教師が協力しながら手を取り合って、ともに子どもに向き合い、支える、そういうための組織であればよいとあらためて思いました。

令和6年度 大門高校PTA活動報告

校内関係

- 4月9日(火) PTA執行部会 1年生執行部選出
- 4月10日(水) PTA執行部会 1年生学年役員選出
- 4月26日(金) PTA準備委員会(第1回PTA役員会)
各準備委員会(文化広報、生徒・生活指導、学校保健)
- 5月11日(土) PTA総会、学年別懇談会
- 6月12日(水)~14日(金) 夏の「高校生さわやか運動」
- 10月11日(金) PTA大学視察研修(金沢大学・金沢工業大学)
- 10月12日(土) PTA学校保健委員会
文化広報委員会(大文字草99号編集)
- 12月20日(金) PTA広報紙大文字草第99号発行
- 2月14日(金) 第2回PTA役員会
- 3月下旬 1・2年生学年役員選出

校外関係

- 6月4日(火) 県高P連定期総会(電気ビル)
- 6月12日(水) 高岡地区PTA指導者研修会
- 6月12日(水)~14日(金) 夏のさわやか運動
- 7月5日(金)~6日(土) 北信越高P連大会(長野県)
- 8月22日(木)~23日(金) 全国高P連大会(茨城県)
- 10月10日(木)~11日(金) 東海北陸社会教育大会(県民会館)
- 10月22日(火) 県高P連大会・指導者研修会(ホテルグランテラス富山)



PTA総会



さわやか運動

高岡地区高校PTA 指導者研修会に参加して

PTA監事 高橋 一史

令和6年6月12日(水)、高岡市生涯学習センターで開催された高岡地区高校PTA指導者研修会に参加しました。今年度の研究発表は、高岡南高校PTA、福岡高校PTA、伏木高校PTAの3校で、どのPTAも学校の教育活動と連携した特色のあるPTA活動を行っていました。

高岡南高校PTA…「SOUTH(サウス)探究プロジェクト」という教育活動は、地域や大学が連携して進路設計や探究活動を行い、情報発信力・課題解決能力を育てることを主として授業などで実施している取り組みです。そこに「PTA SOUTH探究プロジェクト推進委員会」がPTA活動として支援を行っていることが大きな興味を引きました。福岡高校PTA…進路指導委員会が実施する「職業人が語る会」の実施、広報委員会の「親子座談会」の実施がPTA活動のシステムとして既に確立されていると知り、生徒たちや保護者の私たちにとってもとても有意義な活動であると感じました。「職業人が語る会」では活動の積み重ねもあり、講師の選定においても独自の人材バンクを立ち上げ、登録人数(登録期間5年)が46人もいるとのこと。また、「親子座談会」では「親と子、お互いを知ろう」というテーマで日頃お互いが思っていることを語り合うとても良い企画だと感じました。

負担を軽減するためPTA組織の見直しや活動のスリム化に取り組んだ発表と、国際交流(友好校4校…アメリカ・中国・韓国・ロシア)での海外・国内研修会や海外からの高校生訪問などの受け入れなどの活動にPTAとしてどのように協力していくかを学校と協議、模索されていることなどが報告されました。どのPTAの発表も特色ある活動内容であり、「どのように生徒たちをサポートできるか」について協議・検討し、「次年度にどのように繋いでいくか」ということの大切さを改めて感じることができた素晴らしい研究発表でした。

講演の部では、真生会富山病院心療内科 明橋大二(あけはしだいじ)医師による「見逃さないで!子どもの心のSOS」思春期の子育てハッピーアドバイス」と題して今の子どもをめぐる問題の根っこである「自己肯定感の極端な低さ」について、低くなるメカニズムと自己肯定感を育てるアドバイスについて貴重なお話を聞くことができました。個人的には思春期の子どもに接する10ヶ条の項目の一つ、子どもになるべく、「ありがとう」と言おうという言葉が心に響きました。講演を通して改めて自身の自己肯定感を育てつつ、子どもの自己肯定感を育てていくことの大事さ、親と子も共に成長することの大切さを学ぶことができました。このような学びの場を設けていただきました高岡地区高校PTA指導者研修会に携われた皆さまと大門高校PTAの皆さまに感謝申し上げますと共に、今後も大門高校の生徒たちの学びの場をサポートできるようPTA活動に携わってまいります。

第73回
全国高等学校PTA連合会大会
2024茨城大会

PTA会長 山崎 正治



PTAの全国大会へ石黒校長と一緒に参加してきました。30年前に茨城大学生として住んでいたこともあり楽しみにして向かいました。車窓からの変わらない街並みや再開発されて知らない風景となった水戸駅前、何よりも学生の時とは少し違う目線で水戸の街を見ることができました。

昨年は仙台でしたが全国大会は本場に多くの方が参加されています、北信越大会でもびっくりするのですが、電車やホテルが満席であったり、会場までの臨時バスを運行しなければ人を捌ききれなかったりしています。こんなにも多くの方がPTA活動に熱意をもって携わっていることに圧倒されました。

記念講演では二所ノ関親方(元横綱稀勢の里)の話聞いてきました、相撲部屋という伝統ある力士を育成する場の長でありながら、Jリーグの育成方法を学び、都内でなくあえて茨城の地で部屋を建て、独自の育成をしつつも基本となる四股を踏むことへのこだわり等を話していました。親方というのは力士や行司を育て部屋を育ていくためのCEOのような役割を持っているそうです。秋場所で大の里関が優勝しましたが、親方が熱く語っておられた指導法は素晴らしいもので、それを信じて稽古に励んだ大の里関とは良い師弟

関係を持たれているのだろうと思いました。学校での教育においても、先生と生徒、学校と保護者がお互いを信頼しあってこそ結果を出すための思い切った教育ができると思います。体育大会や学園祭などの行事に積極的に参加することで、子どもたちの為のより良い環境を作れるのではないかと思います。

学校保健委員会

PTA文化広報委員長 土合 祐子



10月12日に、学校保健委員会が行われました。始めに、保健委員会の生徒たちから8月に高岡地区保健連絡協議会で怪我の手当てについて発表した内容が紹介されました。生徒たちが怪我の手当てについて自分たちで調べ、HRの時間に実践した内容でした。日常生活に役立ち、生きていく力となると感じました。次に、学校医、学校薬剤師の先生より、怪我や病気の予防、オーバードーズについて指導助言をいただきました。

最後に、館野智子先生(富山県教育委員会スクールカウンセラー・スーパバイザー・臨床心理士・公認心理師)より、「言いたいことはなに?どれだけ?」と題してご講演をいただきました。高校教師、新聞記者、臨床心理士という異色の経歴をおもちで、人と関わるのが好きだという館野先生の、カウンセラーとして今まで経験されてきたお話は、ストンと心の中に入ってきました。思春期の子どもが、色々な環境の中で心が揺れ動き、葛藤したり悩んだりしながら、たくさんある選択

肢の中から自分でどうしたいのか決め、前を向いて生きていくために、私たち親は、解決を急がず、常に「子どもの気持ちを分かりたいな」という思いで子どもに寄り添い、子どもと一緒に考えていこうとする姿勢を大切にしていかななくてはいいと感じました。子どもとの関わり方を見直す貴重な時間となりました。

PTA大学視察研修

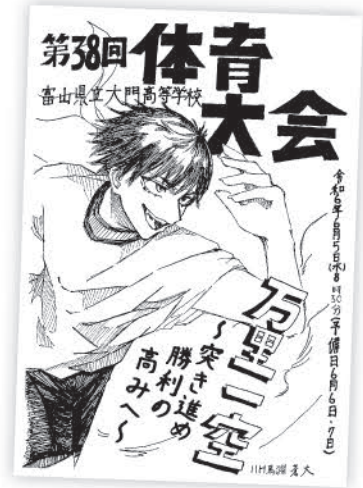
PTA副会長 高木 初代



10月11日にPTA大学視察研修に参加し、金沢大学と金沢工業大学を訪問しました。金沢大学では、キャンパスの広大さに驚き、入試の一環であるKUGSシステムの説明を受け、高校生への期待を感じました。在学生がキャンパスを案内してくれ、留学制度が充実していることや、自身の大学での学びを誇らしげに話す姿が印象的でした。

金沢工業大学では、グループワークや産官学連携の取り組みから、学生を育てたい想いが伝わりました。充実した図書館、感性を刺激する芸術空間、レコードが聴けるリラックススペースなど、こだわりがありました。一言で言うなら、「親世代の大学とは全く違う!」これにつきました。現在の大学は、いろいろなことが学べる可能性が詰まっています。高校生や社会人ではできない経験ができるのが大学です。親としては決して安くはない学費ですが、それだけの価値のあることを再認識しました。

体 育 大 会



学園祭

生徒会 会計 23日 谷本 大和

令和6年度大門高校学園祭が10月27日・28日の2日間、6年振りの一般公開を含めて開催され、盛況のうちに終了しました。

私たち生徒会は準備・運営に加え、生徒会企画を実施しました。1年生によるお化け屋敷や縁日屋台ゲーム、2年生によるカジノや男女逆転メロドカフェ、二郎系クレープ、その他に伝統芸能部吹奏楽部の演奏など生徒の皆さんや一般のお客さんの思い出として印象深く残る出し物が多くあったと感じます。

生徒会企画では「Welcome Daimon コレクション」と題して生徒による特技披露やだいまんマーケットを行いました。だいまんマーケットで集まったお金は、令和6年能登半島地震義援金と大雨災害義援金として被災自治体に送りました。今年の学園祭は、私にとって初めての学園祭でしたが、大門高校生一人一人が個性を最大限に出し切ることができ、また、学園祭一般公開では、来場して下さった方々に大門高校について少しでも知っていただけたかと思えます。ご来場くださった多くの皆様、ありがとうございました。





8月20日(火)～22日(木)

2学年進路研修旅行

名古屋方面



受賞の記録



第127回富山県高等学校弓道選手権大会(春季)	近的男子団体	3位	
第127回富山県高等学校弓道選手権大会(春季)	遠的女子団体	3位	
第128回富山県高等学校弓道選手権大会(秋季)	遠的女子個人	3位	有澤 琉衣
第77回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会	男子400m	4位	村山 陽向(北信越大会出場)
第77回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会	男子円盤投	4位	越田 恵介(北信越大会出場)
第77回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会	男子円盤投	5位	山本 蒼大(北信越大会出場)
第77回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会	男子ハンマー投	5位	山本 蒼大(北信越大会出場)
第77回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会	女子ハンマー投	2位	久々 湊未桜(北信越大会出場)
第77回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会	女子円盤投	5位	春木 悠花(北信越大会出場)
第77回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会	女子やり投	8位	高橋あいか
第61回富山県高等学校新人陸上競技対校選手権大会	男子円盤投	1位	山本 蒼大
第61回富山県高等学校新人陸上競技対校選手権大会	男子ハンマー投	2位	山本 蒼大
第61回富山県高等学校新人陸上競技対校選手権大会	女子円盤投	3位	春木 悠花
第61回富山県高等学校新人陸上競技対校選手権大会	女子ハンマー投	5位	春木 悠花
第61回富山県高等学校新人陸上競技対校選手権大会	女子5000mW	3位	佐野美輝月
第77回富山県高等学校選手権水泳競技大会	男子200mバタフライ	3位	定塚 銀河(北信越大会出場)
第40回富山県高等学校新人水泳競技大会	男子50m背泳ぎ	2位	定塚 銀河
第52回富山県吹奏楽コンクール 高等学校B部門	金賞		
第67回中部日本吹奏楽コンクール富山県大会	金賞		
第35回富山県高等学校日本音楽演奏会	日本音楽部門 最優秀賞		
第36回富山県高等学校文化祭	写真部門 奨励賞		石田 結葵
2024年度ロボットアイデア甲子園	甲信越大会 審査員特別賞		日本シイエムケイ賞 正橋京士朗
第70回青少年読書感想文コンクール	富山県高校の部 県内入選		野々垣陽和

今後の行事予定

- 12月24日(火) 終業式、校内創作ダンス発表会
- 1月6日(月)・7日(火) 3年共通プレテスト
- 8日(水) 始業式、1・2年課題テスト
- 18日(土)・19日(日) 大学入学共通テスト
1・2年進研記述模試
- 28日(火) 課題研究発表会(2年生)
- 2月8日(土)・9日(日) 2年進研共通テスト模試
- 20日(木)~26日(水) 学年末考査
- 28日(金) 卒業式予行
- 3月1日(土) 卒業式
- 8日(土) 1・2年進研スタディサポート
- 24日(月) 修了式

安全メール登録のお願い

メールアドレスは随時、何個でも登録可能です(生徒も可)。毎月の大門高校メールマガジンに加えて、臨時メールとして不審者情報、臨時休校案内などが配信されます。登録方法の詳細は4月配付済みプリントをご覧ください。不明な場合は総務・図書部(篠原)までご連絡ください。

篠原: shinohara-hitoshi@ed.pref.toyama.jp

令和6年度 大学合格者数一覧

() … 過年度生の内数

国立大学	16(1)
公立大学	27
私立大学	380(2)
短期大学	13
専門学校	15
卒業生総数	114

■国立大学

北海道大	1
宮城教育大	1
新潟大	3
富山大	9(1)
信州大	1
長崎大	1

■公立大学

秋田県立大	1
横浜市立大	1
新潟県立大	1
長岡造形大	1
富山県立大	19
福井県立大	1
都留文科大	1
長野大	2

■主な私立大学

工学院大	1
駒澤大	4
専修大	3
東洋大	5
明治学院大	2
玉川大	2
神奈川大	6
東海大	1
富山国際大	14
金沢星稜大	34
金沢工業大	72
金沢学院大	21
金城大	7
北陸大	9
福井工業大	9
愛知大	3
愛知学院大	11
中京大	12
南山大	6
日本福祉大	4
名城大	11
龍谷大	5
京都産業大	37(1)
同志社大	2
立命館大	9(1)
関西大	2
関西学院大	2
近畿大	20
同志社女子大	5

